

令和4年度啓発活動推進事業実施要綱

1. 目的 食品、食生活その他「食」に関し、国民一般向けに行う講演会等において、名誉フードスペシャリストを招請する場合、その費用の一部を協会が助成することにより、国民の「食」に対する正しい理解を深め、国民の健康で豊かな食生活の確保に寄与することを目的とする。
2. 対象事業 国民一般向け講演会、シンポジウム、講習会に相当する事業（聴衆の主体が大学教員や大学院生・学生で占められるような学術的色彩の濃い事業、専ら医療上の視点から栄養問題を取り上げる事業を除く。）とする。
3. 助成件数 原則として、予算の範囲内で、応募企画の内容等を勘案して助成件数を決定する。
4. 助成額 1件当たり10万円を上限とする。
5. 助成対象 名誉フードスペシャリスト招請して行う講演会等に要する費用（広報費、講師謝金、旅費、資料印刷費、会場費、材料費等）の一部を助成対象とする。
6. 応募資格 教育機関・団体をはじめ本事業を適正に実施できる者とする。
7. 応募期限 令和4年6月15日（水）までとする。
8. 応募書類 令和4年度啓発活動推進事業申請書（別記様式）
9. 審査 学識経験者からなる審査会で審査を行う。
10. 報告 指定様式（別記様式2）により報告書を作成し、事業実施2ヶ月以内に当協会に提出する。
11. その他留意事項 事業の開催に使用するパンフレット等には、当協会の講演等を明示する。

（注）名誉フードスペシャリストとは、フードスペシャリストが目指す目標像となる、「食に関する専門的、総合的知識と技術を有し、食品産業に貢献した者」、「食についての明確な情報を広範に提供することにより、国民の食生活の向上に顕著な功績をあげた者」に対し、公益社団法人日本フードスペシャリスト協会が顕彰、表彰し、名誉フードスペシャリストの称号を授与した者をいう

(別記様式)

令和4年度啓発活動推進事業申請書

年 月 日

公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会
会 長 青 柳 康 夫 殿

(教育機関・団体名)

(代表者) ○ ○ ○ ○



下記の事業について、貴協会の助成を受けたいのでよろしくお取り計らい願います。

名 称	
開 催 日	
開催場所	
目 的 及 び 内 容	(ここには概要のみ 250 字以内で記載し別紙 1 に詳細内容を記載してください。)
助成申請額	(ここには申請額のみを記載し別紙 2 に積算根拠を示してください。)
助成振込先	口座番号： 銀行 支店 口座 ○○○○○○ 口座名義：○○○○○○○○○
実施責任者	所 属
	フリガナ 氏 名 E-Mail
	電 話() - FAX() -
会計責任者	所 属
	フリガナ 氏 名 E-Mail
	電 話() - FAX() -

(別紙1)

啓発活動推進事業企画書

事業の名称

--

(別紙2)

啓発活動推進事業申請額積算書

事業の名称

費 目	経費見込額	うち助成申請額
合 計		

(別記様式2)

令和4年度啓発活動推進事業実施報告書

年 月 日

公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会
会 長 青 柳 康 夫 殿

(教育機関・団体名)

(代表者)

○ ○ ○ ○



名 称	
開 催 日	
開催場所	
参加者	人 数： 年齢層： ※具体的にお願いします。
実施結果	概要は次の通り。
会計報告	助成金使用額 ○○○○円。詳細は別紙精算書のとおり。
実施責任者	所 属
	フリガナ 氏 名 E-Mail
	電 話() - FAX() -
会計責任者	所 属
	フリガナ 氏 名 E-Mail
	電 話() - FAX() -

(別紙)

積 算 書

事業名の名称 _____

費 目	経費見込額	経費実績	助成申請額	助成金使用額
合 計				

※ 欄が不足の場合は適宜書き足してください。

《助成金の未使用額の返納》

〈内訳〉

協会から年度当初に交付された助成金額 = _____ 円・・・㉑

経 費 実 績 = _____ 円・・・㉒

差 額 (㉑ - ㉒) = _____ 円・・・㉓

未使用額の振込先

◎振込先 みずほ銀行 大塚支店 普通 2102419

◎口座名義 : 公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会